

Ⅲ 歯科疾患実態調査結果の概要

Ⅲ 歯科疾患実態調査結果の概要

概 要

本調査結果については、過去2回（平成22年度、平成28年度）にわたって実施した調査結果と比較、検討を行った。各調査内容別にみた本調査結果の概要は以下の通りである。

歯科健康診査による調査結果

(1) 20歯以上の歯を有する者

20歯以上の歯を有する者の割合は、全体に増加傾向にある。特に75歳以上の者の20歯以上の増加が顕著である。80歳以上で約半数となった。

(2) 歯の状況

・現在歯の状況

平均歯数は50歳代から減少を認めるが、前回調査と比較すると60歳以上の残存歯数の減少率は低下傾向にある。80歳以上の残存歯数は前回比4.3本増加した。

・健全歯の状況

70歳代を除くすべての年代で、前回調査より健全歯数の増加を認める。

・むし歯の状況

むし歯の有病者率は前回調査と比較し、20歳代では減少傾向にあるが、30歳代以降では高い有病者率で横ばい状態である。

・未処置歯の状況

80歳以上を除く、すべての年代において減少を認め、特に20歳代において大きな減少を認める。

・処置歯の状況

1人平均処置歯数は20歳代、30歳代、40歳代で減少しているが、50歳代以降では増加し、70歳代以降では顕著に増加している。

・喪失歯の状況

喪失歯のある者の割合は、40歳代以降で急激に増加している。平成28年度調査と比較して50歳代、60歳代では減少がみられる

(3) 補綴の状況

今回の調査では、補綴完了者は53.2%であった。前回調査と比較し、補綴完了者はやや増加した。

(4) 歯周病の状況

歯周炎有病者率は年代を追う毎に増加し、50歳代以降では50%以上が歯周病に罹患している。過去調査と比較して、すべての年代で増加傾向にある。

1 被調査者の状況

被調査者数

(単位：人)

			10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	計
1	地 区	男 性	0	2	4	2	2	5	1	0	16
		女 性	0	12	25	11	4	6	7	1	66
		計	0	14	29	13	6	11	8	1	82
2	事業所	男 性	0	74	95	84	70	34	2	0	360
		女 性	0	37	40	51	32	11	0	0	170
		計	0	111	135	135	102	45	2	0	530
3	その他	男 性	0	80	90	97	96	93	100	74	630
		女 性	0	103	133	140	156	145	148	116	941
		計	0	183	223	237	252	238	248	190	1,571
合 計	男 性	0	156	189	183	168	132	103	74	1,006	
	女 性	0	152	198	202	192	162	155	117	1,177	
	計	0	308	387	385	360	294	258	191	2,183	

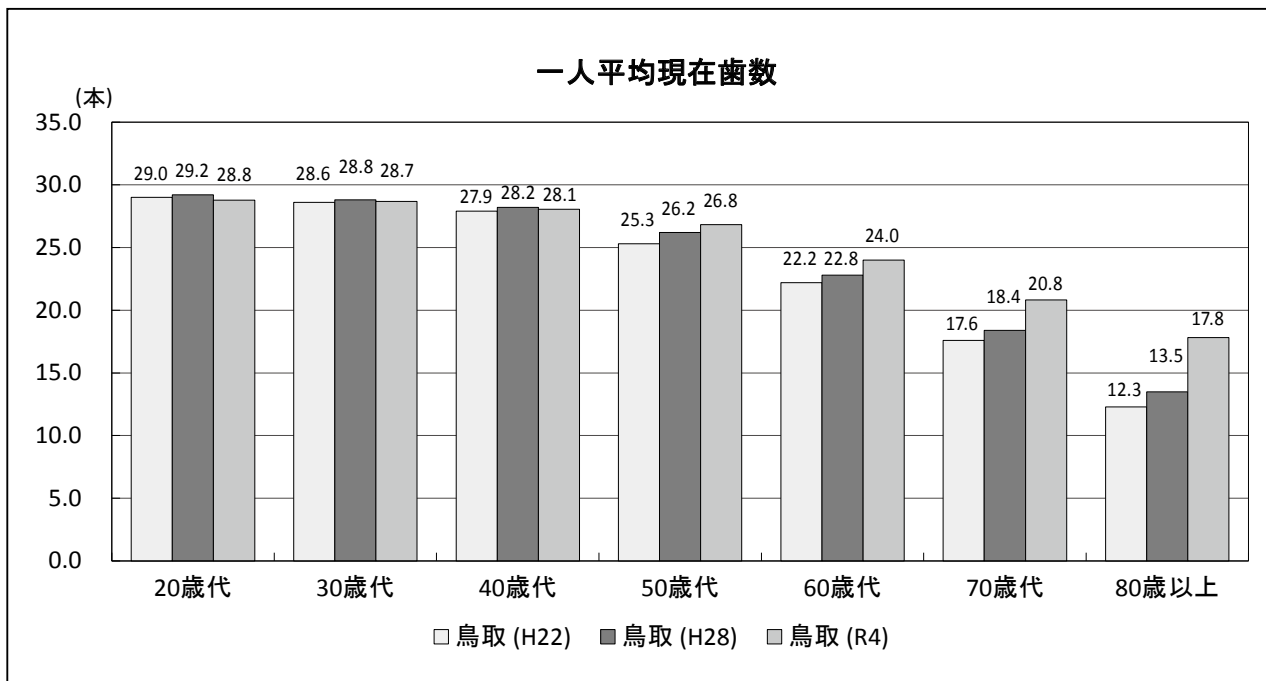
平成22年度実績	男 性	5	116	151	162	201	194	156	39	1,024
	女 性	9	256	360	269	261	257	207	81	1,700
	計	14	372	511	431	462	451	363	120	2,724
平成28年度実績	男 性	1	120	197	202	157	145	82	29	933
	女 性	1	202	345	277	288	229	101	48	1,491
	計	2	322	542	479	445	374	183	77	2,424

2 歯科健診による調査事項

(1) 現在歯の状況

○過去調査（平成22年度、平成28年度）との比較

50歳代以降の年代で現在歯数の増加を認め、特に70歳代・80歳代以上において顕著である。



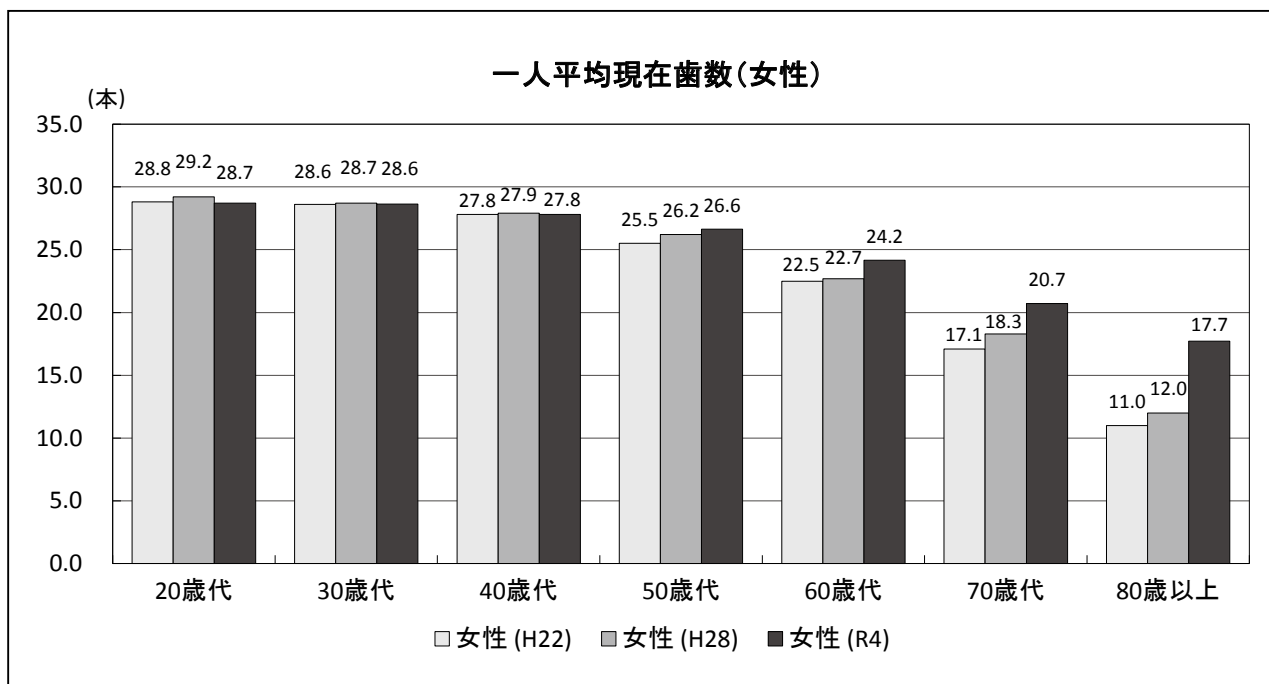
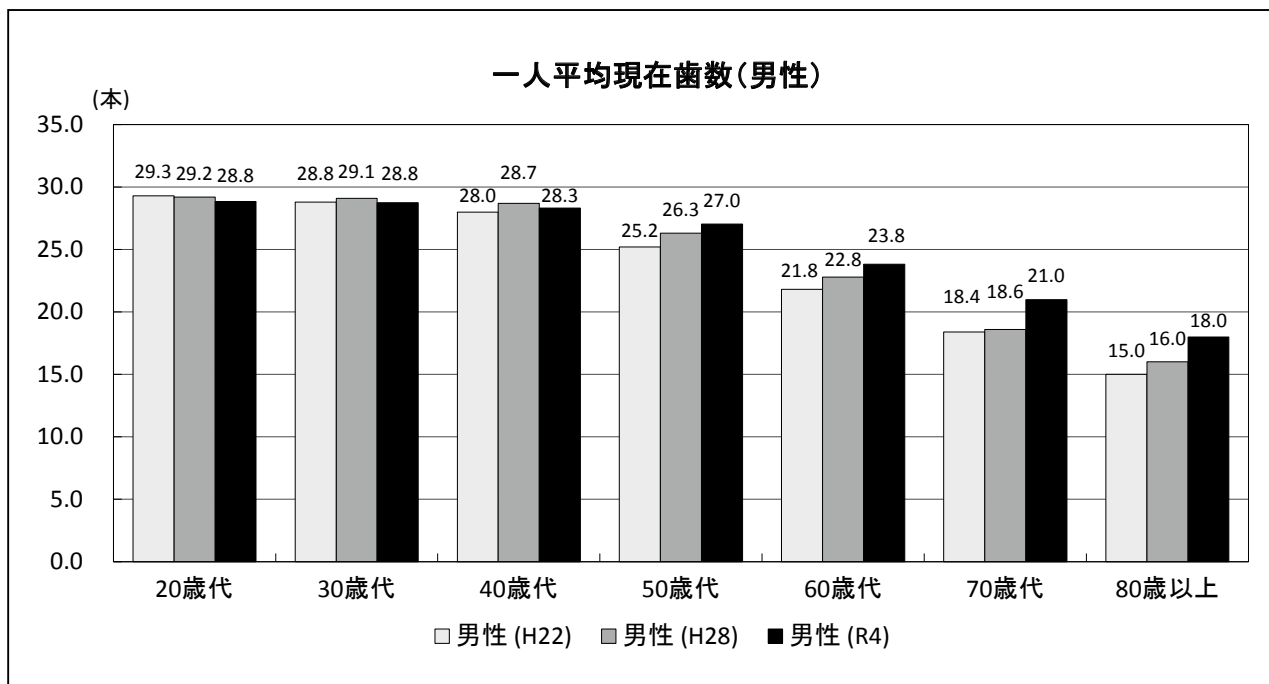
一人平均現在歯数

(単位：本)

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
鳥取(H22)	29.0	28.6	27.9	25.3	22.2	17.6	12.3
鳥取(H28)	29.2	28.8	28.2	26.2	22.8	18.4	13.5
鳥取(R4)	28.8	28.7	28.1	26.8	24.0	20.8	17.8
全国(H29)	28.8	28.6	27.8	25.9	22.7	18.9	13.0

○性別での比較

70歳代までは差は認められない。80歳以上の女性に増加を認め、性差がなくなった。



一人平均現在歯数(男女別)

(単位：本)

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
男性(H22)	29.3	28.8	28.0	25.2	21.8	18.4	15.0
男性(H28)	29.2	29.1	28.7	26.3	22.8	18.6	16.0
男性(R4)	28.8	28.8	28.3	27.0	23.8	21.0	18.0
女性(H22)	28.8	28.6	27.8	25.5	22.5	17.1	11.0
女性(H28)	29.2	28.7	27.9	26.2	22.7	18.3	12.0
女性(R4)	28.7	28.6	27.8	26.6	24.2	20.7	17.7

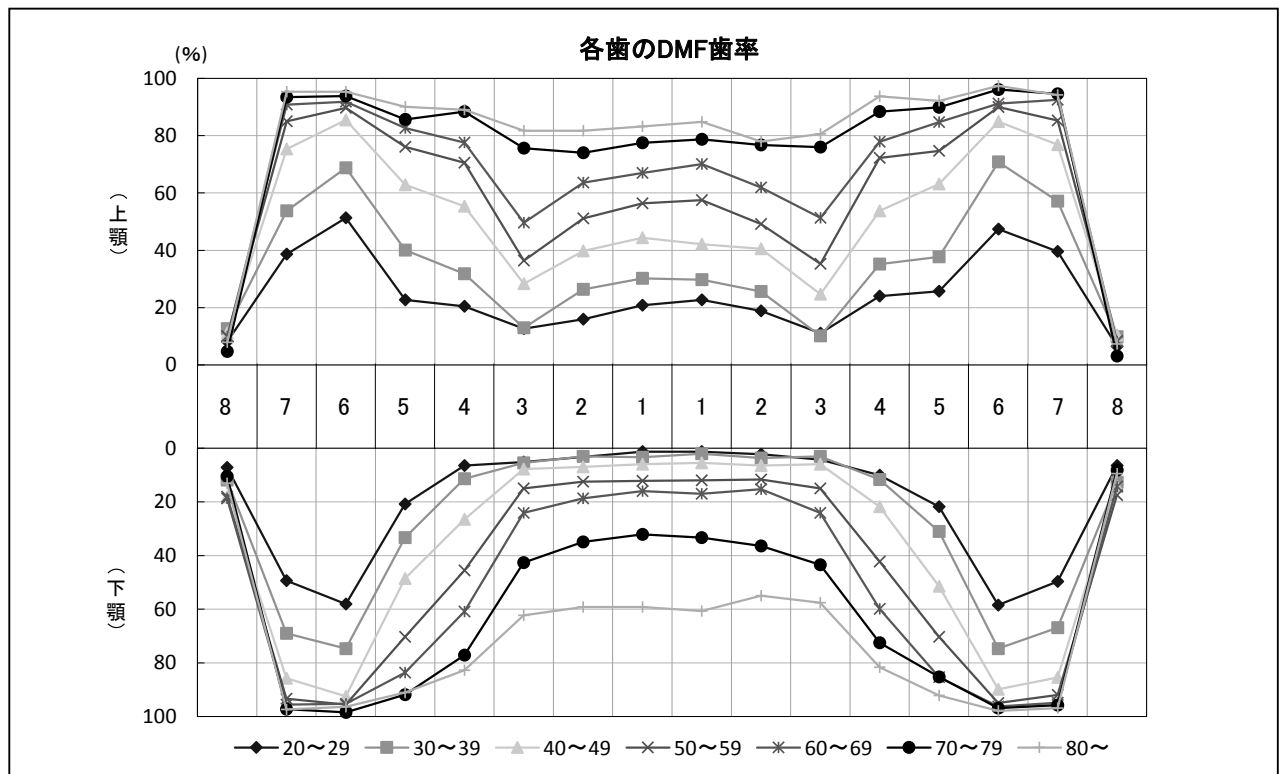
(2) 歯別のDMF 歯率

すべての年代において、上下顎とも臼歯部（特に大臼歯部）のDMF 歯率が高い事が認められる。

(単位：%)

		上 顎															
年 代	被調査者数	右 側								左 側							
		18	17	16	15	14	13	12	11	21	22	23	24	25	26	27	28
～19	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～29	308	8.1	38.6	51.3	22.7	20.5	12.7	15.9	20.8	22.7	18.8	11.0	24.0	25.6	47.4	39.6	6.5
30～39	387	12.7	53.7	68.7	40.1	31.8	12.9	26.4	30.2	29.7	25.6	10.1	35.1	37.7	70.8	57.1	9.8
40～49	385	11.2	75.3	85.5	62.9	55.3	28.3	39.7	44.4	42.1	40.5	24.7	53.8	63.1	84.9	76.9	10.4
50～59	360	10.0	85.0	89.7	76.1	70.6	36.4	51.1	56.4	57.5	49.2	35.3	72.2	74.7	90.0	85.3	8.3
60～69	294	9.9	90.8	91.8	82.7	77.6	49.7	63.6	67.0	70.1	61.9	51.4	77.9	84.7	91.2	92.5	8.2
70～79	258	4.7	93.4	93.8	85.7	88.4	75.6	74.0	77.5	78.7	76.7	76.0	88.4	89.9	96.1	94.6	3.1
80～	191	7.9	95.3	95.3	90.1	89.0	81.7	81.7	83.2	84.8	78.0	80.6	93.7	92.1	97.4	94.2	7.3
総 数	2,183	9.6	73.9	81.1	63.1	58.6	37.8	46.8	50.9	51.5	46.7	36.5	60.1	63.9	80.9	75.2	8.0

		下 顎															
年 代	被調査者数	右 側								左 側							
		48	47	46	45	44	43	42	41	31	32	33	34	35	36	37	38
～19	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～29	308	7.1	49.4	58.1	20.8	6.5	5.2	3.2	1.3	1.3	2.3	4.2	10.1	21.8	58.4	49.7	6.5
30～39	387	11.9	69.0	74.7	33.3	11.4	5.4	3.1	3.4	2.1	3.6	3.1	11.6	31.0	74.7	66.9	12.7
40～49	385	18.2	85.7	92.5	48.6	26.5	7.8	7.0	6.0	5.5	6.5	6.0	21.8	51.4	89.9	85.5	14.3
50～59	360	18.1	93.3	95.6	70.3	45.6	15.0	12.5	12.2	11.9	11.7	15.0	42.2	70.3	95.0	91.9	17.5
60～69	294	18.7	95.6	95.2	83.7	60.9	24.1	18.7	16.0	17.0	15.3	24.1	59.9	85.4	96.3	94.9	14.3
70～79	258	10.5	97.3	98.4	91.9	77.1	42.6	34.9	32.2	33.3	36.4	43.4	72.5	85.3	96.9	95.7	8.1
80～	191	13.1	97.4	96.3	91.1	82.7	62.3	59.2	59.2	60.7	55.0	57.6	81.7	92.1	97.9	96.9	9.4
総 数	2,183	14.2	82.6	86.4	59.1	39.7	19.3	16.1	15.0	15.0	15.2	18.1	38.1	58.9	86.0	81.7	12.3

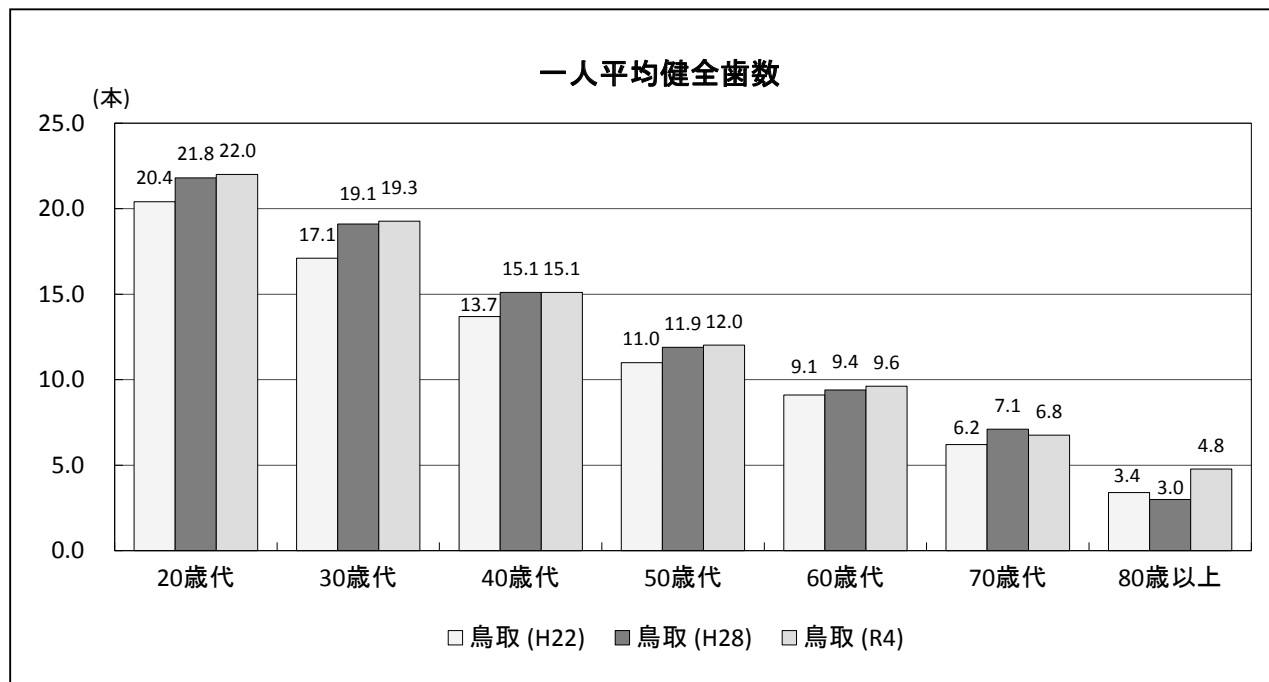


※DMF 歯：D(う蝕歯)、M(喪失歯)、F(処置歯)

(3) 健全歯の状況

○過去調査（平成22年度、平成28年度）との比較

70歳代を除くすべての年代で、前回調査より健全歯数の増加を認める。



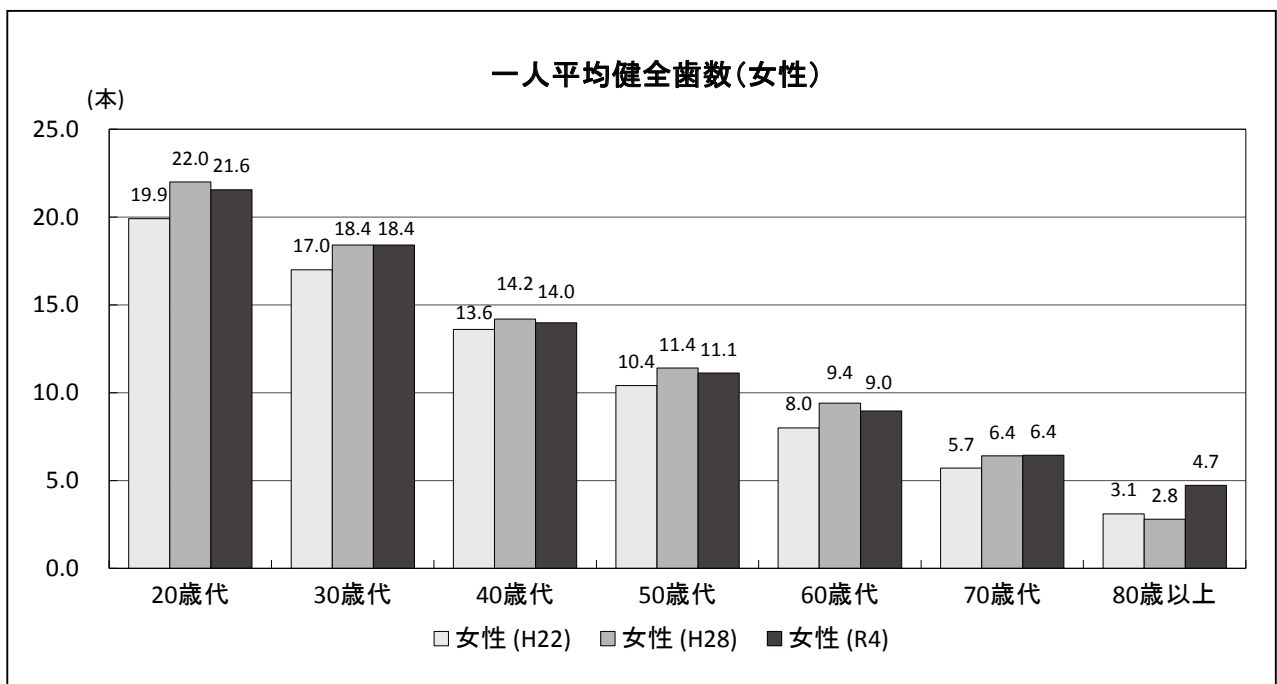
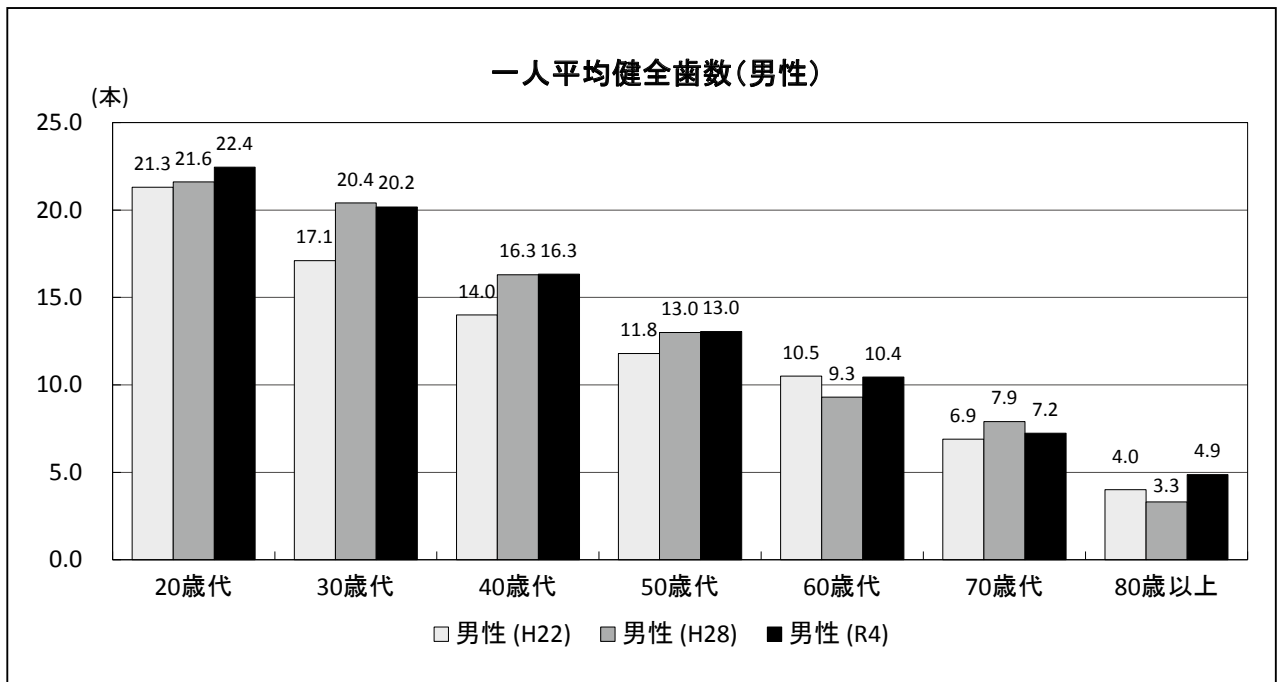
一人平均健全歯数

(単位：本)

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
鳥取(H22)	20.4	17.1	13.7	11.0	9.1	6.2	3.4
鳥取(H28)	21.8	19.1	15.1	11.9	9.4	7.1	3.0
鳥取(R4)	22.0	19.3	15.1	12.0	9.6	6.8	4.8

○性別での比較

すべての年代で、男性が女性より多くの健全歯を有している。



一人平均健全歯数(男女別)

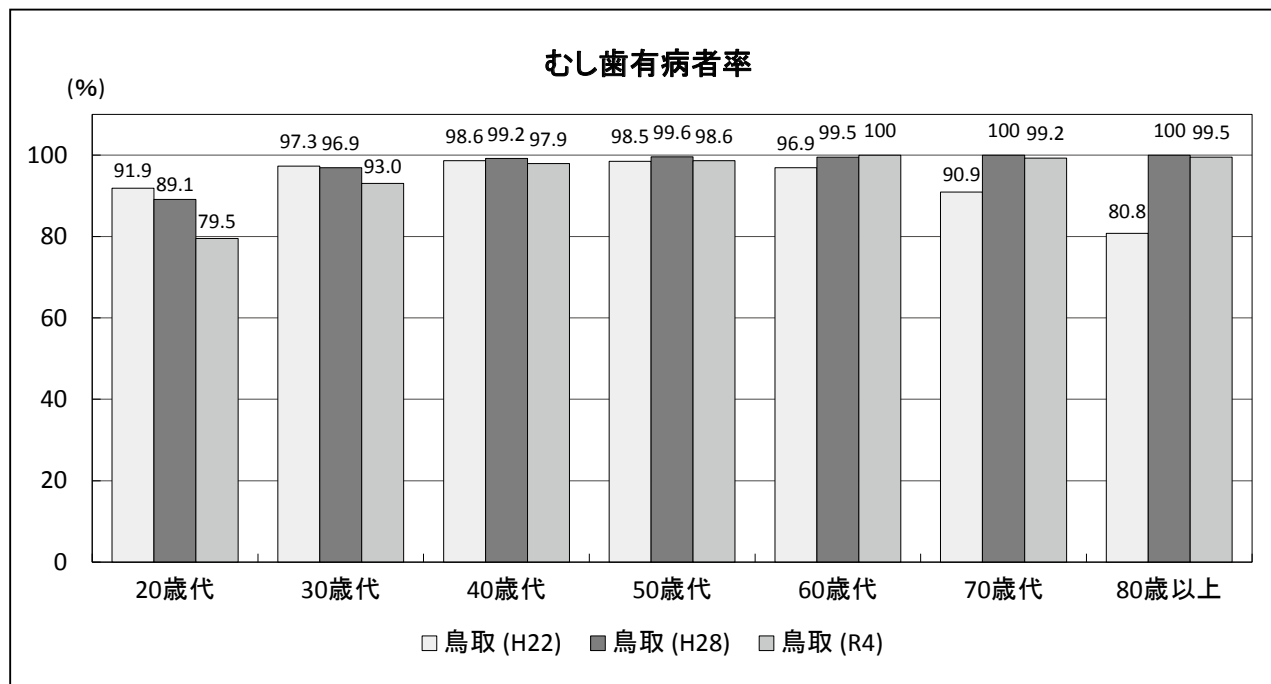
(単位：本)

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
男性(H22)	21.3	17.1	14.0	11.8	10.5	6.9	4.0
男性(H28)	21.6	20.4	16.3	13.0	9.3	7.9	3.3
男性(R4)	22.4	20.2	16.3	13.0	10.4	7.2	4.9
女性(H22)	19.9	17.0	13.6	10.4	8.0	5.7	3.1
女性(H28)	22.0	18.4	14.2	11.4	9.4	6.4	2.8
女性(R4)	21.6	18.4	14.0	11.1	9.0	6.4	4.7

(4) むし歯の状況

○過去調査（平成22年度、平成28年度）との比較

むし歯の有病者率は、前回調査と比較し20歳代では減少傾向にあるが、30歳代以降では高い有病者率で横ばい状態である。



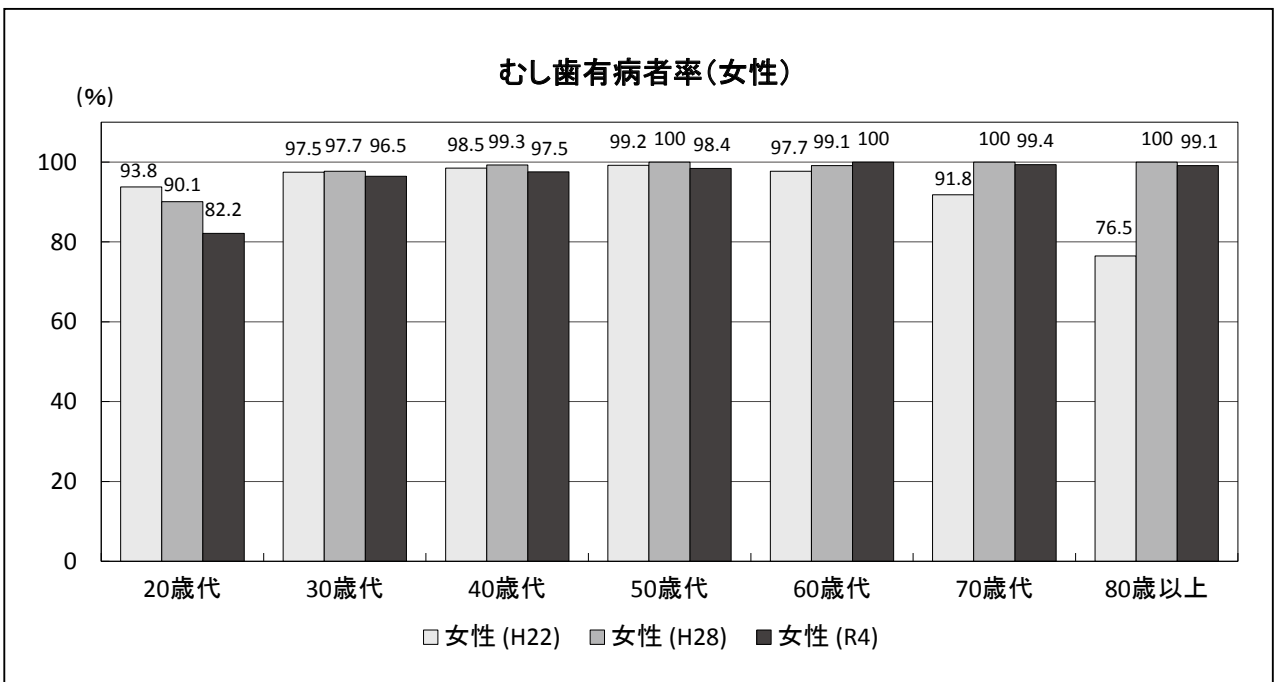
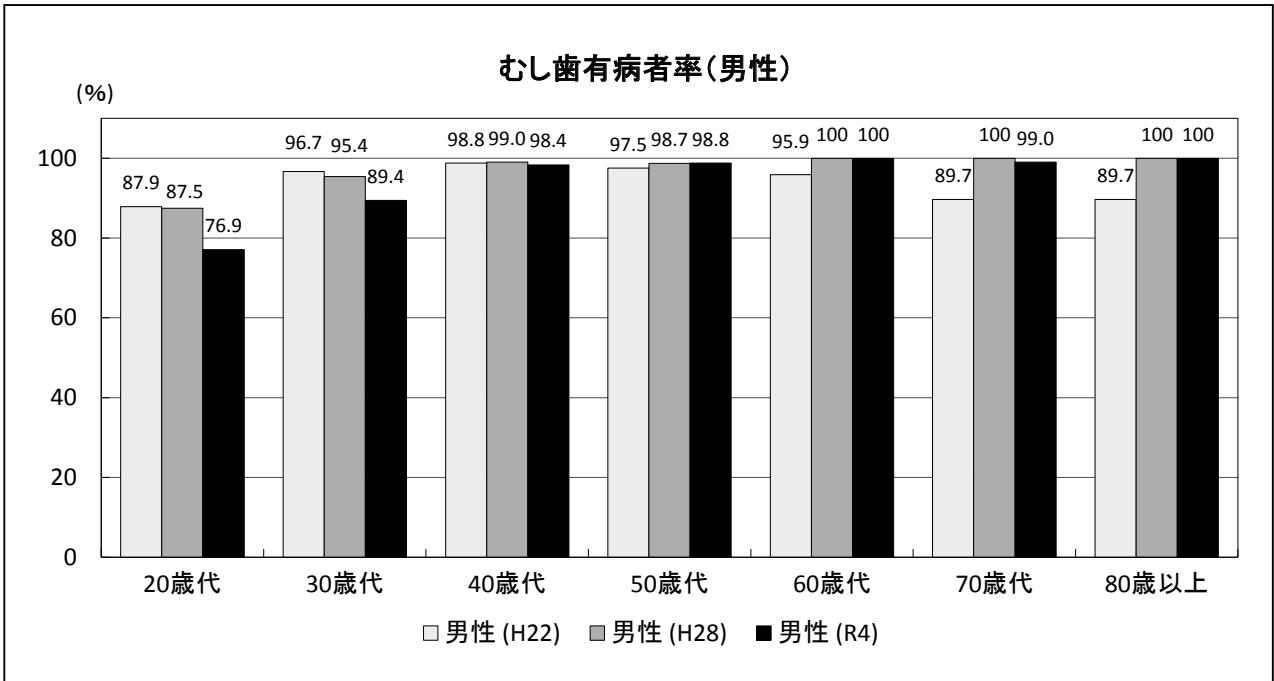
むし歯有病者率

(単位：%)

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
鳥取 (H22)	91.9	97.3	98.6	98.5	96.9	90.9	80.8
鳥取 (H28)	89.1	96.9	99.2	99.6	99.5	100	100
鳥取 (R 4)	79.5	93.0	97.9	98.6	100	99.2	99.5
全国 (H29)	83.5	95.5	99.4	99.0	97.4	92.0	77.6

○性別での比較

すべての年代において、大きな差を認めない。



むし歯有病者率(男女別)

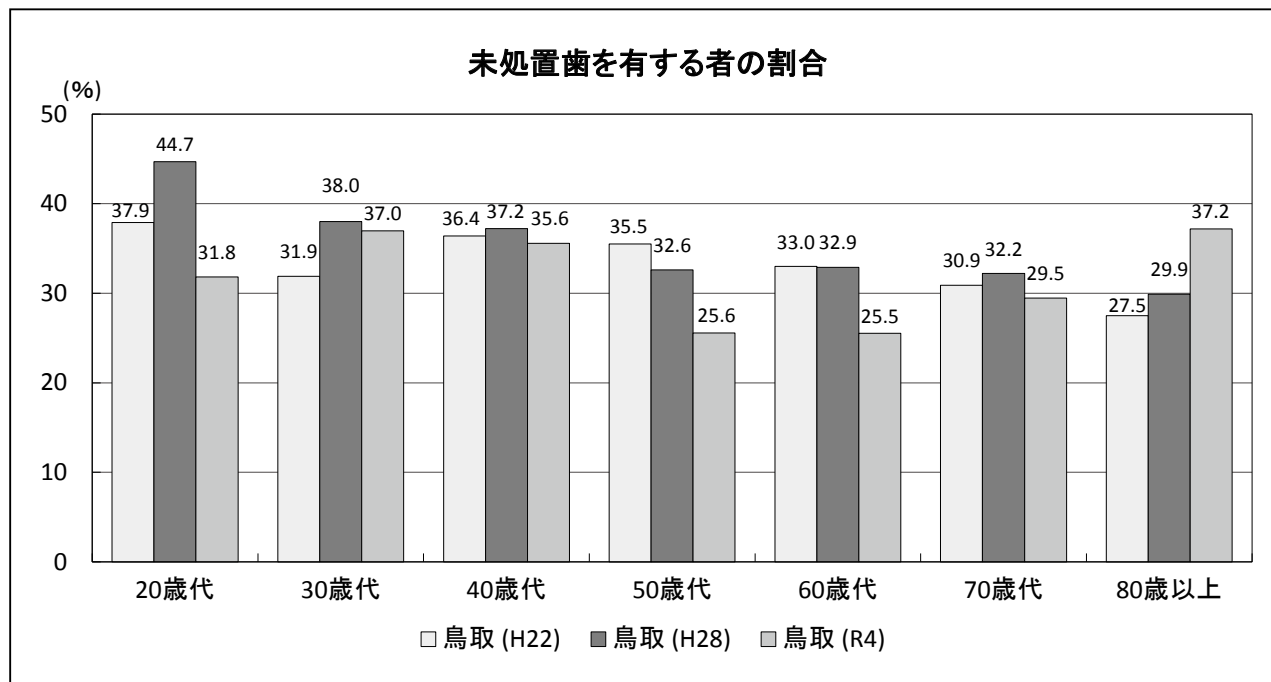
(単位：%)

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
男性(H22)	87.9	96.7	98.8	97.5	95.9	89.7	89.7
男性(H28)	87.5	95.4	99.0	98.7	100	100	100
男性(R4)	76.9	89.4	98.4	98.8	100	99.0	100
女性(H22)	93.8	97.5	98.5	99.2	97.7	91.8	76.5
女性(H28)	90.1	97.7	99.3	100	99.1	100	100
女性(R4)	82.2	96.5	97.5	98.4	100	99.4	99.1

(5) 未処置歯の状況

○過去調査（平成22年度、平成28年度）との比較

80歳以上を除く、すべての年代において減少を認め、特に20歳代において大きな減少を認める。



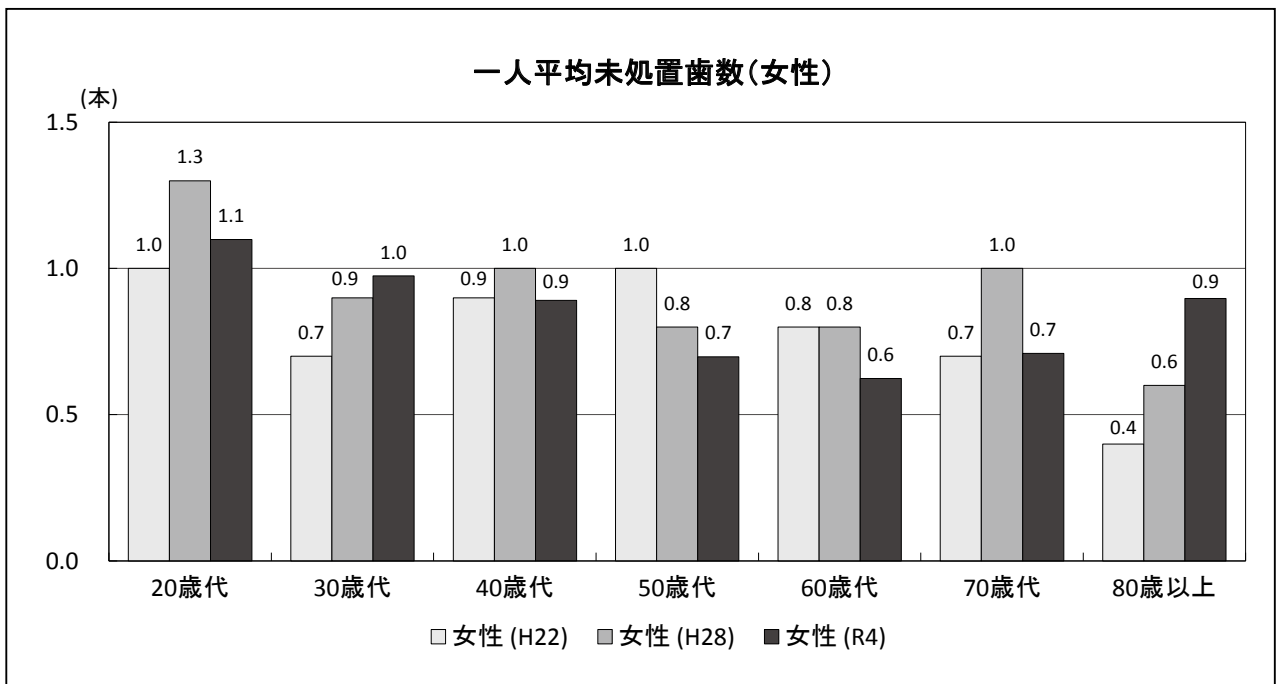
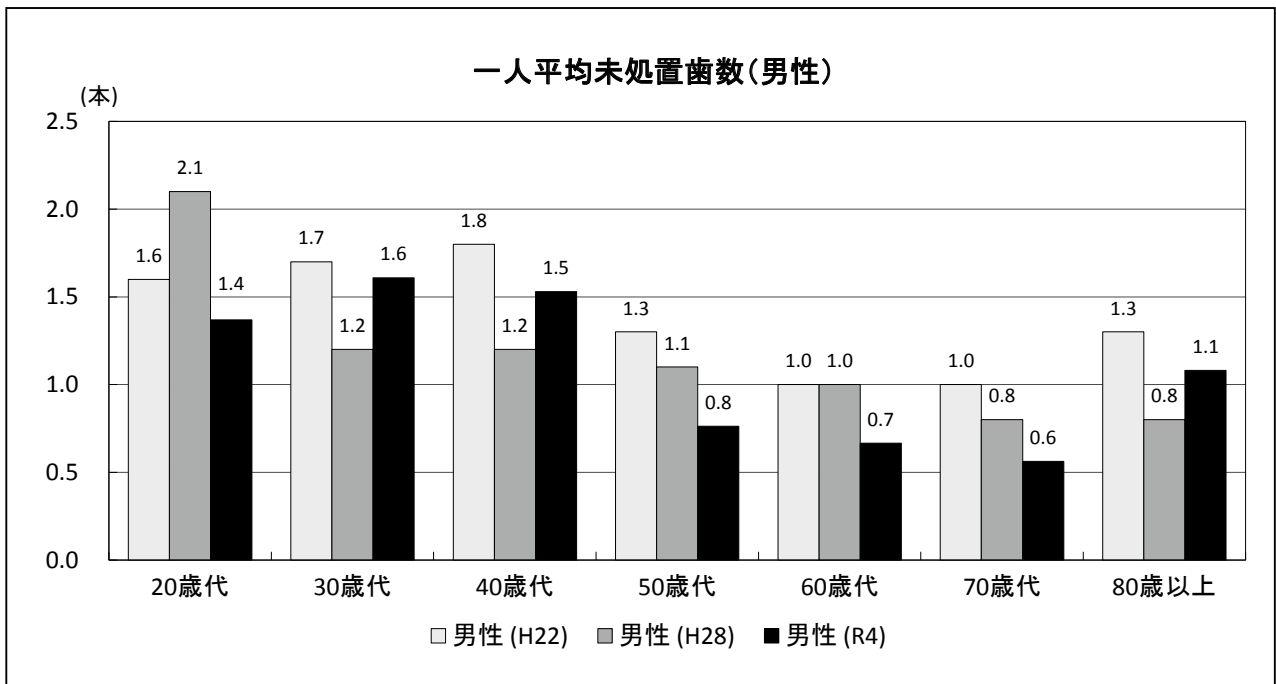
未処置歯を有する者の割合

(単位：%)

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
鳥取 (H22)	37.9	31.9	36.4	35.5	33.0	30.9	27.5
鳥取 (H28)	44.7	38.0	37.2	32.6	32.9	32.2	29.9
鳥取 (R 4)	31.8	37.0	35.6	25.6	25.5	29.5	37.2
全国 (H29)	37.8	35.0	32.9	31.6	33.6	34.0	30.3

○性別での比較

70歳代を除くすべての年代において、男性の方が女性より多い。



一人平均未処置歯数(男女別)

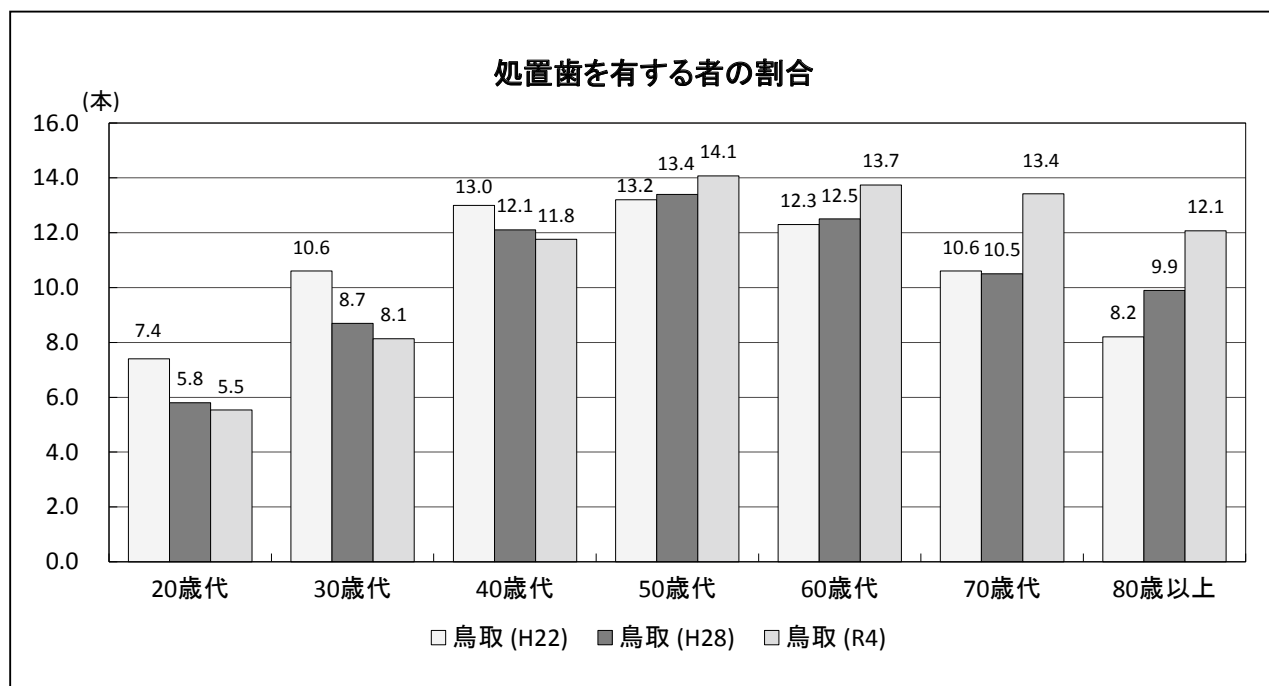
(単位：本)

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
男性(H22)	1.6	1.7	1.8	1.3	1.0	1.0	1.3
男性(H28)	2.1	1.2	1.2	1.1	1.0	0.8	0.8
男性(R4)	1.4	1.6	1.5	0.8	0.7	0.6	1.1
女性(H22)	1.0	0.7	0.9	1.0	0.8	0.7	0.4
女性(H28)	1.3	0.9	1.0	0.8	0.8	1.0	0.6
女性(R4)	1.1	1.0	0.9	0.7	0.6	0.7	0.9

(6) 処置歯の状況

○過去調査（平成22年度、平成28年度）との比較

1人平均処置歯数は20歳代、30歳代、40歳代で減少しているが、50歳代以降では増加し、70歳代以降は顕著に増加している。



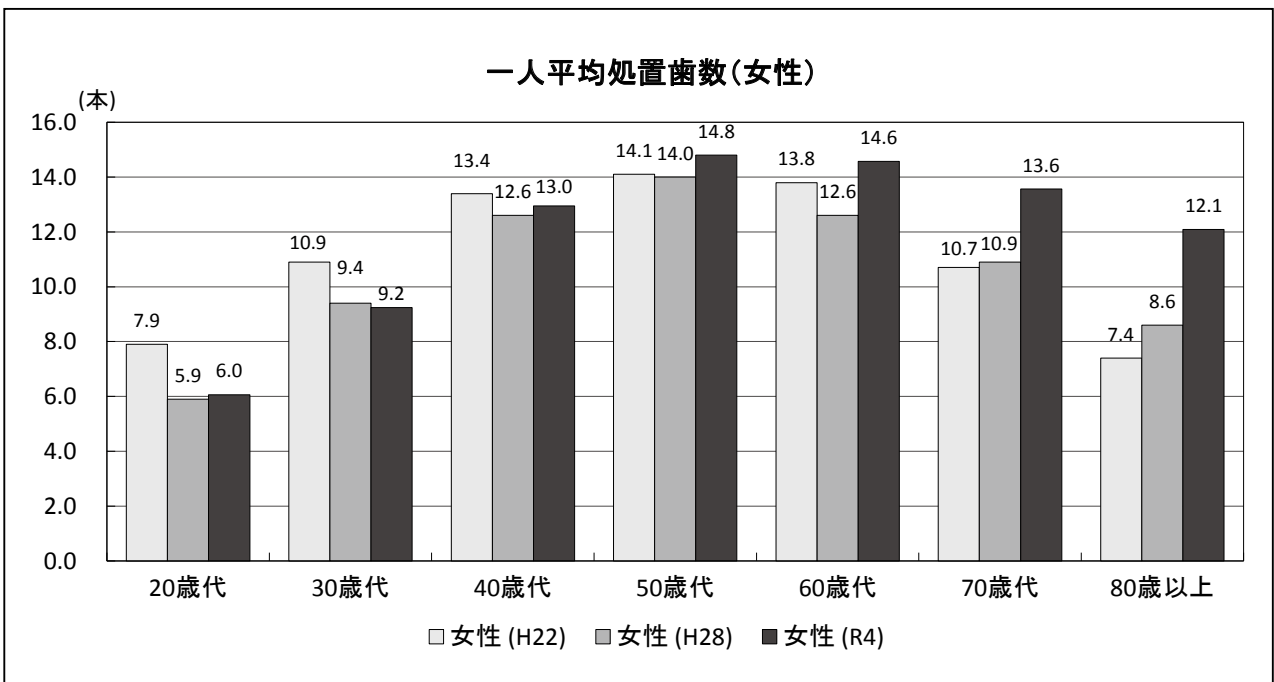
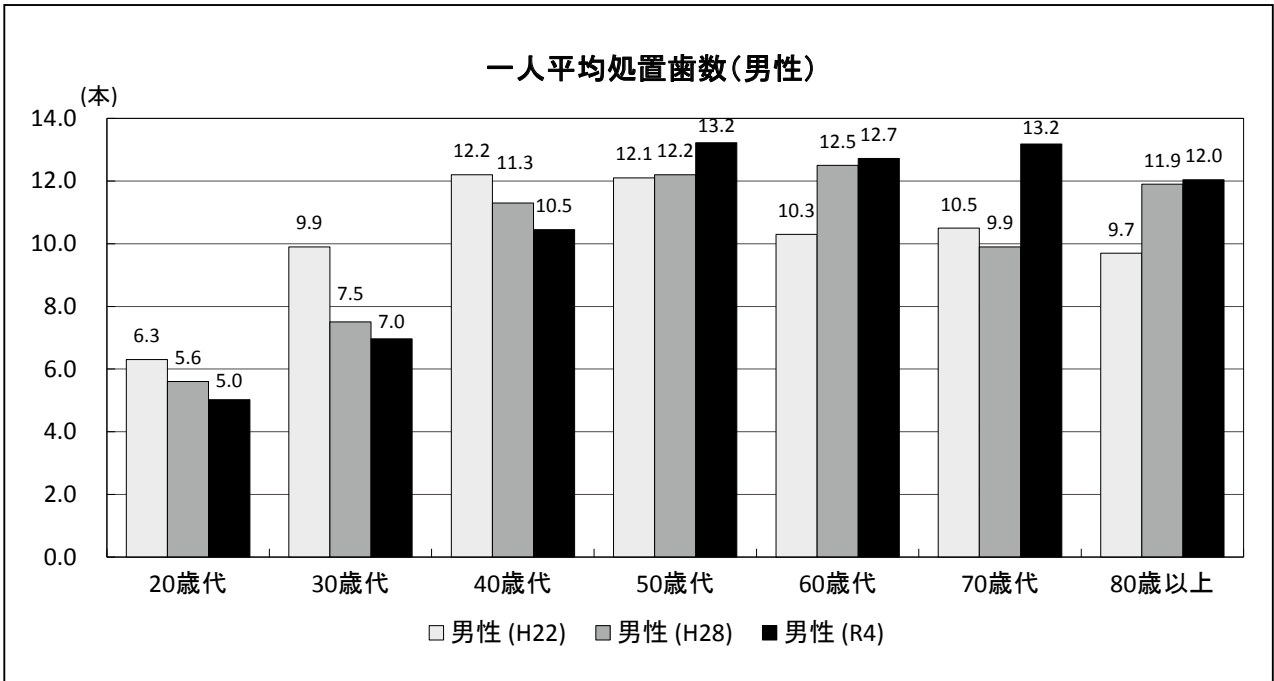
処置歯を有する者の割合

(単位：本)

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
鳥取 (H22)	7.4	10.6	13.0	13.2	12.3	10.6	8.2
鳥取 (H28)	5.8	8.7	12.1	13.4	12.5	10.5	9.9
鳥取 (R4)	5.5	8.1	11.8	14.1	13.7	13.4	12.1
全国 (H29)	4.0	8.8	11.6	12.6	11.8	10.0	8.1

○性別での比較

すべての年代において、女性の方が多い。



一人平均処置歯数(男女別)

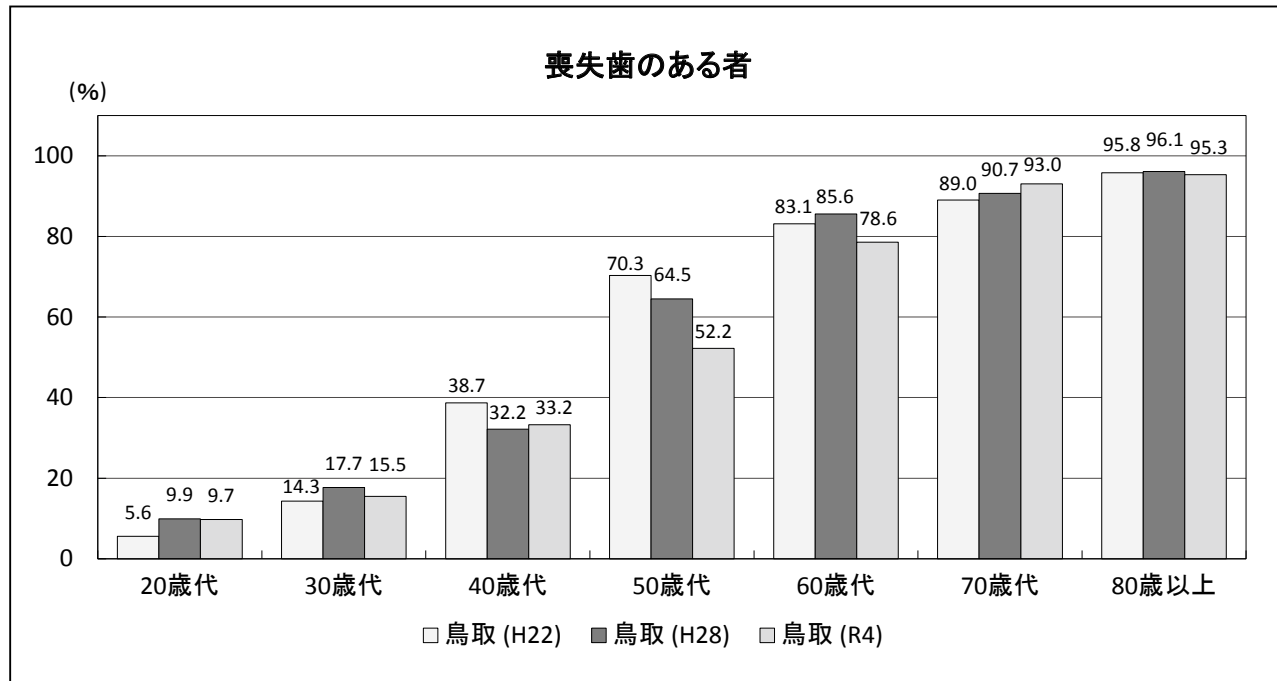
(単位：本)

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
男性(H22)	6.3	9.9	12.2	12.1	10.3	10.5	9.7
男性(H28)	5.6	7.5	11.3	12.2	12.5	9.9	11.9
男性(R4)	5.0	7.0	10.5	13.2	12.7	13.2	12.0
女性(H22)	7.9	10.9	13.4	14.1	13.8	10.7	7.4
女性(H28)	5.9	9.4	12.6	14.0	12.6	10.9	8.6
女性(R4)	6.0	9.2	13.0	14.8	14.6	13.6	12.1

(7) 喪失歯の状況

○過去調査（平成22年度、平成28年度）との比較

喪失歯のある者の割合は、40歳代以降で急激に増加している。平成28年度調査と比較して50歳代、60歳代では減少がみられる。



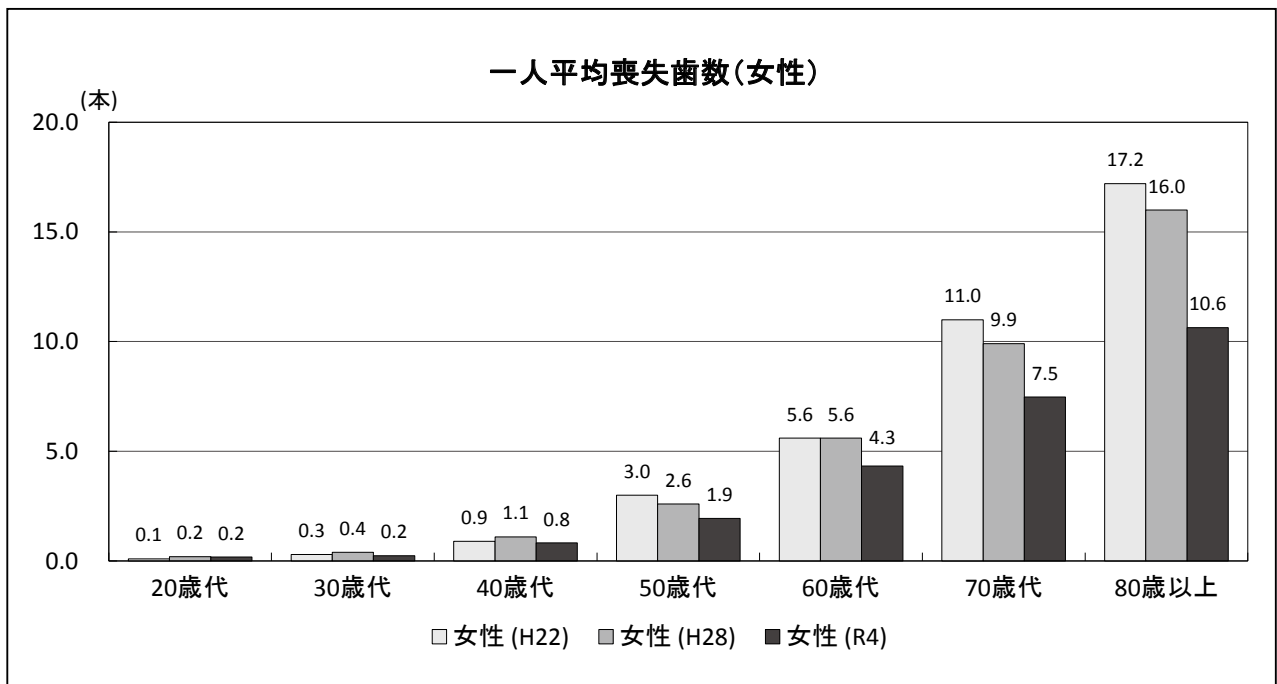
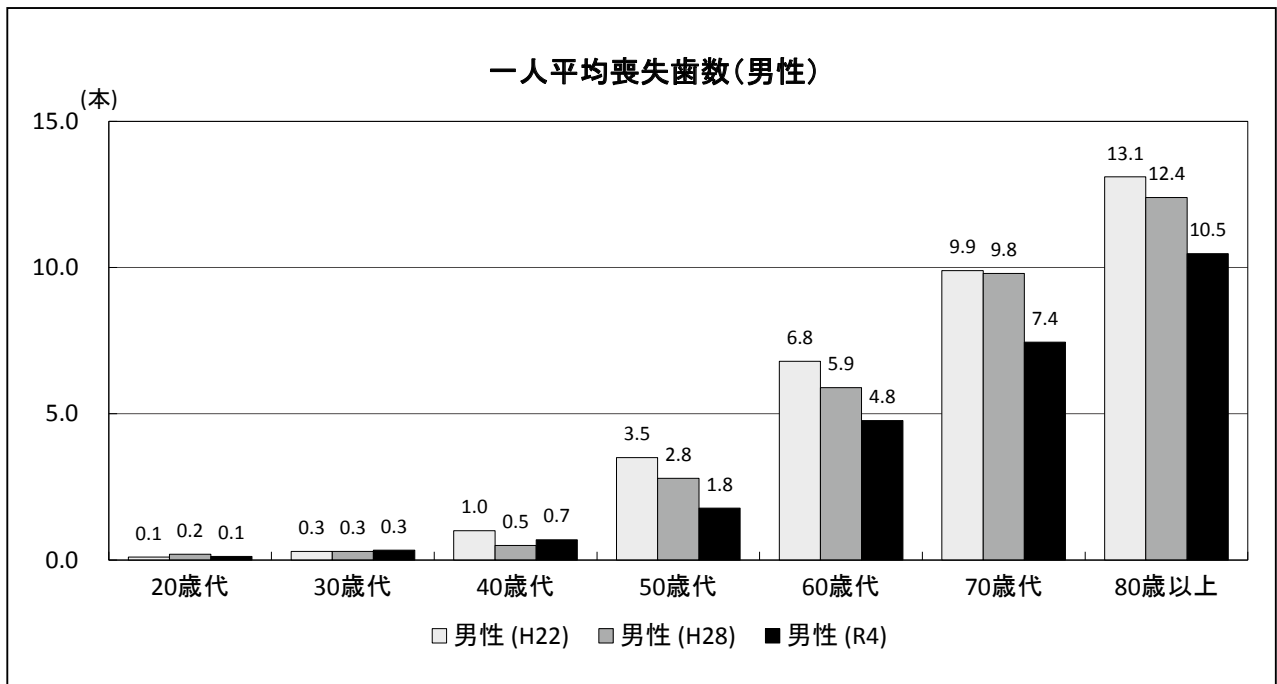
喪失歯のある者

(単位：%)

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
鳥取 (H22)	5.6	14.3	38.7	70.3	83.1	89.0	95.8
鳥取 (H28)	9.9	17.7	32.2	64.5	85.6	90.7	96.1
鳥取 (R 4)	9.7	15.5	33.2	52.2	78.6	93.0	95.3

○性別での比較

ほぼ男女ともに減少し性差が認められなくなった。



一人平均喪失歯数(男女別)

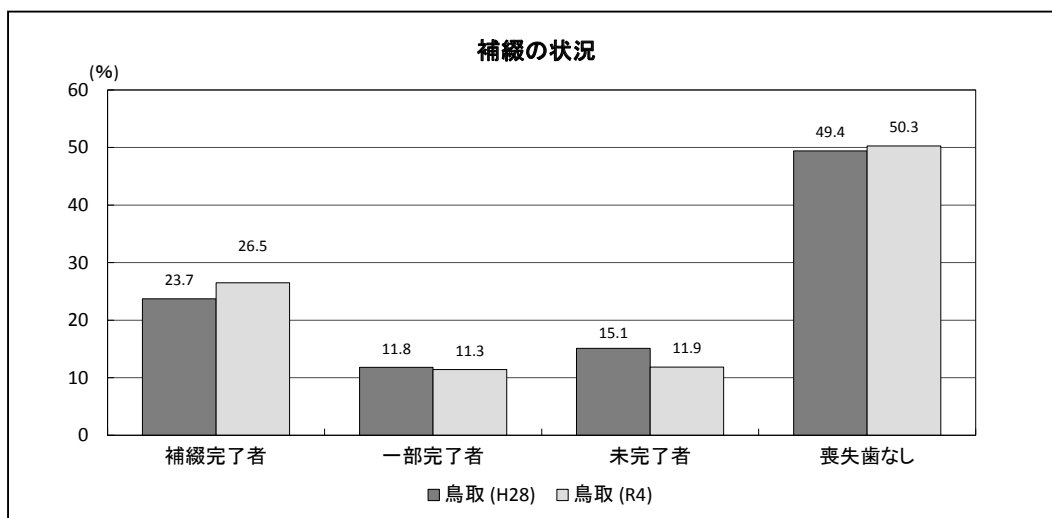
(単位：本)

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
男性(H22)	0.1	0.3	1.0	3.5	6.8	9.9	13.1
男性(H28)	0.2	0.3	0.5	2.8	5.9	9.8	12.4
男性(R4)	0.1	0.3	0.7	1.8	4.8	7.4	10.5
女性(H22)	0.1	0.3	0.9	3.0	5.6	11.0	17.2
女性(H28)	0.2	0.4	1.1	2.6	5.6	9.9	16.0
女性(R4)	0.2	0.2	0.8	1.9	4.3	7.5	10.6

(8) 補綴の状況

○前回調査（平成28年度）との比較

補綴を必要とする者は前回調査とほぼ変化なく、半数は補綴を必要としている。



補綴の状況

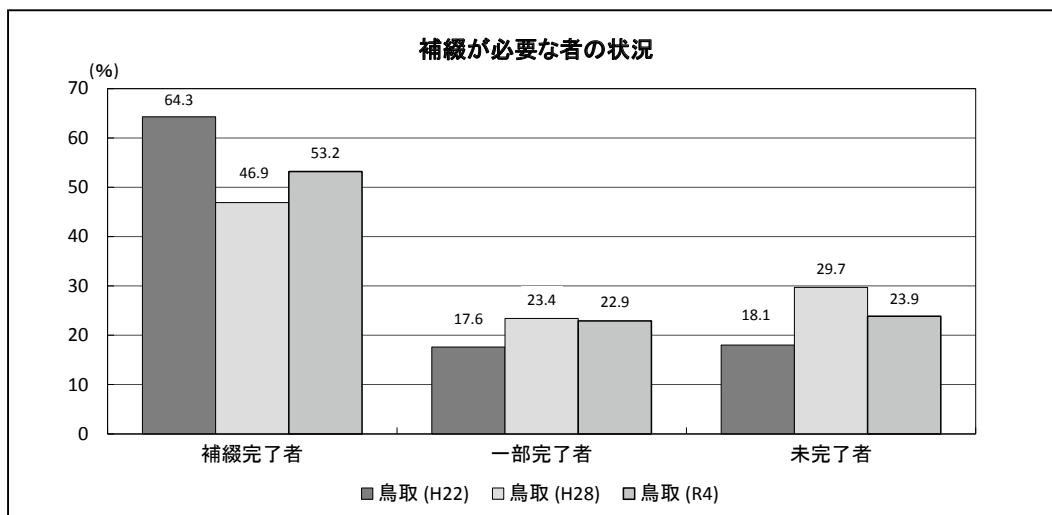
(単位：%)

	補綴完了者	一部完了者	未完了者	喪失歯なし
鳥取 (H28)	23.7	11.8	15.1	49.4
鳥取 (R4)	26.5	11.3	11.9	50.3

補綴完了者 + 一部完了者 + 未完了者 + 喪失歯なしを100として算出

○補綴が必要な者の状況（平成22年度・平成28年度との比較）

今回の調査では前回の調査と比べて補綴完了者の数が増加し、未完了者が減少した。



補綴が必要な者の状況

(単位：%)

	補綴完了者	一部完了者	未完了者
鳥取 (H22)	64.3	17.6	18.1
鳥取 (H28)	46.9	23.4	29.7
鳥取 (R4)	53.2	22.9	23.9

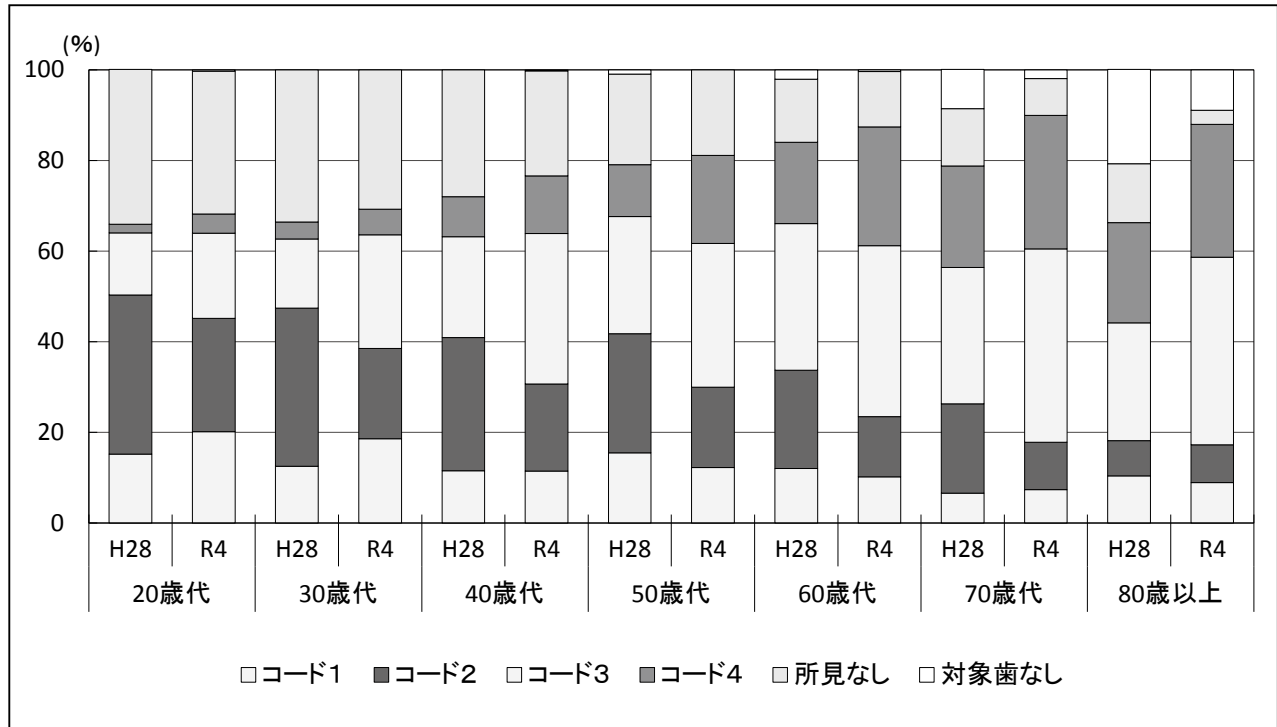
補綴完了者 + 一部完了者 + 未完了者を100として算出

(9) 歯周病の状況

○歯肉の所見の有無

・前回調査（平成28年度）との比較

所見なしは年代を追う毎に減少している。コード1・2は20歳代が最も多く年代を追う毎に減少傾向がみられる。コード3・4は年代を追う毎に増加傾向がみられる。前回調査と比較してコード3・4ですべての年代において増加傾向にある。



(単位：%)

	所見のあるもの										所見なし		対象歯なし	
	総数		コード1		コード2		コード3		コード4		H28	R4	H28	R4
	H28	R4	H28	R4	H28	R4	H28	R4	H28	R4				
20歳代	65.8	68.2	15.2	20.1	35.1	25.0	13.7	18.8	1.9	4.2	34.2	31.5	0.0	0.3
30歳代	66.4	69.3	12.5	18.6	34.9	19.9	15.3	25.1	3.7	5.7	33.6	30.7	0.0	0.0
40歳代	72.0	76.6	11.5	11.4	29.4	19.2	22.3	33.2	8.8	12.7	28.0	23.1	0.0	0.3
50歳代	79.1	81.1	15.5	12.2	26.3	17.8	25.8	31.7	11.5	19.4	20.0	18.9	0.9	0.0
60歳代	84.0	87.4	12.0	10.2	21.7	13.3	32.4	37.8	17.9	26.2	13.9	12.2	2.1	0.3
70歳代	78.7	89.9	6.6	7.4	19.7	10.5	30.1	42.6	22.4	29.5	12.6	8.1	8.7	1.9
80歳以上	66.2	88.0	10.4	8.9	7.8	8.4	26.0	41.4	22.1	29.3	13.0	3.1	20.8	8.9

コード0 歯肉に炎症の所見が認められない

コード1 プロービング後に出血が認められる

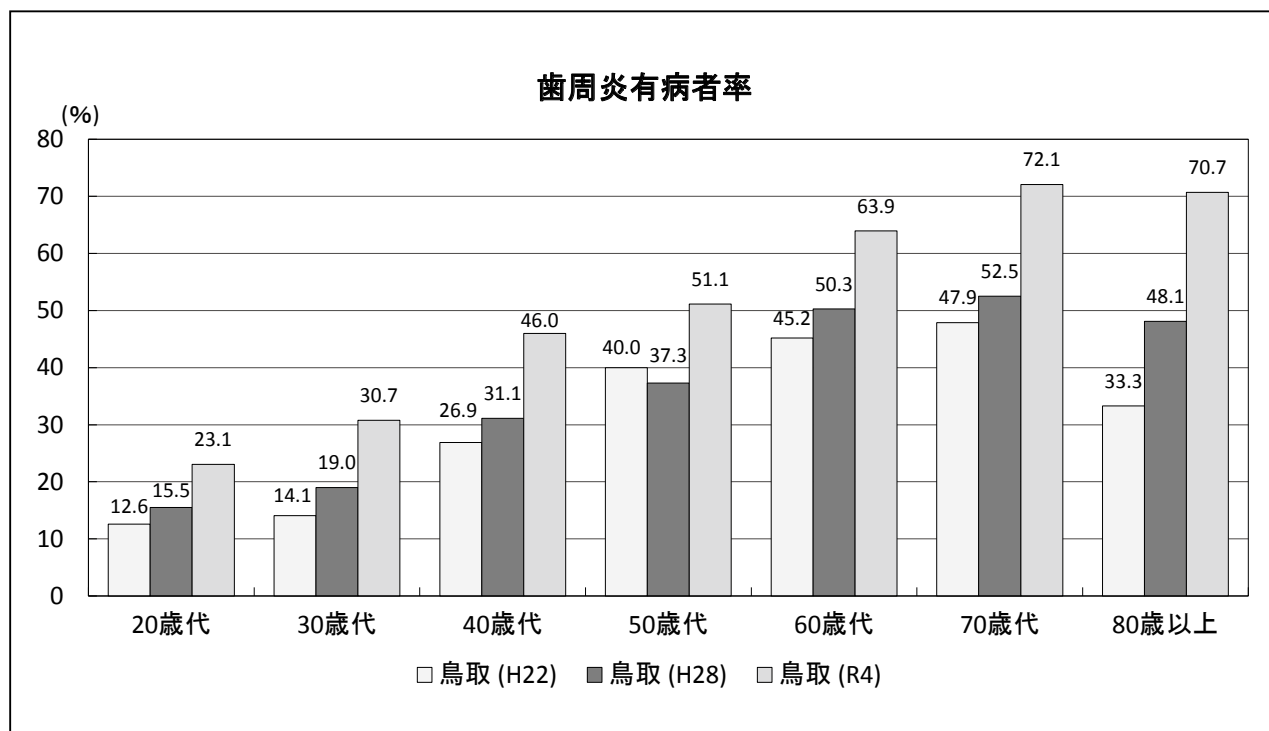
コード2 歯石の沈着（歯肉縁下4mmまでのプロービングによる検出を含む）

コード3 ポケットの深さが4mm以上6mm未満

コード4 ポケットの深さが6mm以上

○過去調査（平成22年度、平成28年度）との比較

歯周炎有病者率は年代を追う毎に増加して50歳代以降では50%以上が歯周炎に罹患している。過去調査と比較してすべての年代で増加傾向である。



歯周炎有病者率の割合

(単位：%)

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
鳥取 (H22)	12.6	14.1	26.9	40.0	45.2	47.9	33.3
鳥取 (H28)	15.5	19.0	31.1	37.3	50.3	52.5	48.1
鳥取 (R 4)	23.1	30.7	46.0	51.1	63.9	72.1	70.7
全国 (H29)	28.8	36.8	44.7	50.7	59.4	54.4	46.4

注) 歯周炎有病者率とは、4 mm以上の歯周ポケットを有する者の割合